

「阿波ふうど情報」 (vol.3)



発行：とくしまブランド推進機構

連絡先：電話 088-624-7362 / ファクシ 088-624-8751
住所：徳島市北佐古1番町5-12 JA会館8階

「流通改善対策」情報

阿波ふうど主催：「農産物流通改善研修会」を開催しました！！

・農産物の流通改善対策事業の一環として「徳島県庁」「阿波市役所」で、東京都のIT企業「プラネットテーブル」代表の菊池 紳氏を招き「農産物流通改善研修会」を8月2～3日の2日間にわたり開催しました。

・2日間で、生産者やJA関係者など約120名が参加され、新たな流通の仕組みや、首都圏と産地の情報格差、価値観の違いなどを学びました。

質疑応答も多く関心の高さが伺えました。！



↓ 研修会の終わりに出席者の皆様に率直な感想を聞きました。

出席者の声

- ・「今まで当たり前と思ってやっていたことに対する概念が覆った」
- ・「もっと流通や実需者のニーズを学べば生産者も今より収益を向上させることができるのだと知った」
- ・「農業は転換期に来ていると思うので自分の価値観をしっかりと持って野菜を作りたいと思った」



生産者 吉積氏



生産者 唐渡氏

興味をお持ちの方は「阿波ふうど」にご連絡下さい！

また、菊池氏の講演後には実際に「プラネットテーブル」と取引を行っている生産者の方から事例紹介がありました。

※「SEND」とは、全国の産地・生産者と東京都内のトップレストランをつなげる農産物流通システム



「生産振興対策」情報

先日「えだまめ収穫機実演会」が開催されました！

○「えだまめ」の生産振興上の課題となっている作業の省力化を考える実演会

先日、JA徳島中央会とJA徳島市との共催で、「えだまめ収穫機」の実演会が、生産者・関係者約80名が参加して開催されました。えだまめは、消費量も多く、安定した販売がなされている有望な夏場の作物です。

使用された機械は、(株)ミツワ社製のトラクター牽引式の「GTH-1型」で、約2a分を30分で収穫しました。

まだ、いくつかの改善点もありますが、えだまめの生産拡大を図るには重要な技術と思われます。



<参考>えだまめ生産者の作業時間を調査しました。(協力:JA徳島市営農経済部)

1日の作業時間は平均9時間40分で、約12箱(96kg)出荷します。そのうち「収穫・脱莢」作業は約25%、「洗浄・調整・袋詰」作業は約52%を占めており、「省力化」が課題！

「とくしまブランド推進機構」 愛称：地域商社 阿波ふうど

☆阿波ふうど

「AWA FOOD」とは？

「阿波(徳島)の風土に育まれた幸をもたらす」ということを表現



「とくしまブランド推進機構」は、「農家所得の向上」と「農業生産の拡大」を目的に、マーケットイン型の生産・流通・販売を総合的に推進するため、徳島県・県農業開発公社・JA徳島中央会・JA全農とくしまの4者が創設した組織です。